

## 7. 間違った褒め方

してはいけない褒め方、時には怒らせてしまう褒め方は何かというと  
前のページの表で言うと、

「あの子よりも可愛いね」「Aちゃんよりも素敵だよ」という  
相対評価+結果評価、相対評価+プロセス評価です。

なぜダメなのかというと、女の子は  
他人と比べて褒めると機嫌を悪くする傾向があるからです。

女性は男が思っている以上に、他の女性を意識しています。  
男だけが他の男を意識しているという  
大間違いということです。

「あの子よりも〇〇ちゃんの方が綺麗だよ」と言っても  
「私ってその程度なの？」と思っていたりしますし^^;;

「あの子よりも可愛いね」と言っても  
「その女の子のこと可愛いと思ったからそういうこと言ったんでしょ！」と  
口には出さなくても内心思っていることが多々あります。

つまり、人と比べるような褒め方はいけないということになります。

相対評価は一番やってはいけない褒め方です。

「なんでAちゃんの名前が出てきたわけ？Aちゃんのことを  
可愛いと思ったからでしょ。」と思われるならまだしも・・・

## －藤村勇気の総合恋愛会話教材－

「なんであんたにそんな評価されないといけないの！」という

上から目線的な評価をされた感覚になり、  
屈辱的な感情しか芽生えてこない子もいます。

これではせっかく褒めたとしても、  
怒らせるネタを一つ作っているようなものですので、  
こういう褒め方をするぐらいなら  
よく言われている恋愛テクニックのように褒めない方が良いでしょう。

ただ、こういう褒め方をしてしまう男性がなぜ多いのかというと

我々男性の場合は、相対評価の褒め方をすると喜ぶからです。

例えば、

友達に「あいつよりも、お前の方がカッコいいよ」  
キャバ嬢やホステスに「今日来てくれたお客さんの中で一番カッコいい」  
彼女に「あなたが一番良くしてくれた」  
会社の人に「この会社であなたが一番出来ると思う」

男たるもの、上記の褒め方はものすごく嬉しいですよ。

大きく分けると人間と言う意味で同じですが、  
繊細な部分では男と女は違ってきたりもします。

「俺が言われると嬉しいから、君にも言ってあげる♪」

自分がされて嫌なことをしない。  
自分がされて嬉しいことだけを相手にする。

という感覚だけの恋愛をしていますと、

## －藤村勇気の総合恋愛会話教材－

ほとんどの場合では相手を喜ばすことができますが、  
繊細な部分では、逆効果になることもあるということです。

このような繊細な部分を知るためにも  
この教材を隅々まで理解してください^^

繊細な部分であっても女の子が激怒し、  
積み上げてきた好意度や仲の良さが壊れてしまうこともあります。

**女性には、他人と比べて褒めない。**

**男性には、他人と比べながら褒めると良いということです。**

では、相対評価をしなければどんな褒め方でも良いのかというと  
これがまたそうではないんですね><

「君は綺麗だね」という絶対評価+結果評価も良くないです。

なぜ良くないのかと言うと、皆こんな褒め方をしているからです。

この褒め方というのは、自称恋愛のプロさんが書いた恋愛本  
などに良く書かれている、

**「可愛い女性ほど褒められ慣れているから、褒めすぎると自分の価値を下げちゃう」**

という褒め方だからです。

これは正しい意見で、誰でもしているような褒め方では

## ー藤村勇気の総合恋愛会話教材ー

意味がありませんし、

「なんだ、君も、他の男と一緒にのレベルだね。」

とあなたの価値も下がります。

みんながしていることということは、女の子も聞き飽きるくらい聞いていてますので、

せっかく褒めても、喜んでくれる可能性がゼロに近いです。

例をあげると

「その髪型、似合ってるよ^^」

「そのピアス、似合ってるよ^^」

顔が可愛い女性ならただ単純に「可愛いね」

世の中の大半の男がやっってしまう褒め方です。

例外としては、

元々、女の子の方が、あなたにかなり好意がある場合には、効果のある褒め方になります。

ですので、イケメンということで昔はモテていた男性などは、上記の褒め方をし、女の子に喜んでもらい、モテたのではないのでしょうか。

相手によっては気持ち悪いとか、

ウザいという負の感情を引き起こすだけですのでこういう褒め方をするぐらいなら、褒めない方が良いでしょう。

なぜなら、好意が思った以上に強く伝わってしまう可能性があり、同時に、警戒されてしまう可能性が出てくるからです。

## －藤村勇気の総合恋愛会話教材－

相手を褒めても、相手がつまらないと思ってしまうのは、  
絶対評価＋結果評価を使った褒め方をしてしまっているからです。

もっと言うと、いじるとことを強く推奨している方は、  
結果評価のような褒め方しか出来ていないため  
話がつまらないと女性に思われてしまい、

「褒めすぎると自分の価値を下げてしまう」

というような結論に至り、  
相手を楽しませるには、けなすことやいじることも必要と言っているわけです。

いじるということも悪くはないのですが  
下手ないじり方をすると  
感じの悪い人だと思われてしまう可能性も出てきます。

つまり、嫌われる可能性があるというリスクが出てきます。

また、後ほど、本当のいじりのテクニックをお伝えしますが、  
褒めるのが下手な人ほど、いじるという行為も上手に出来ませんので  
まずは褒めることを意識してください。